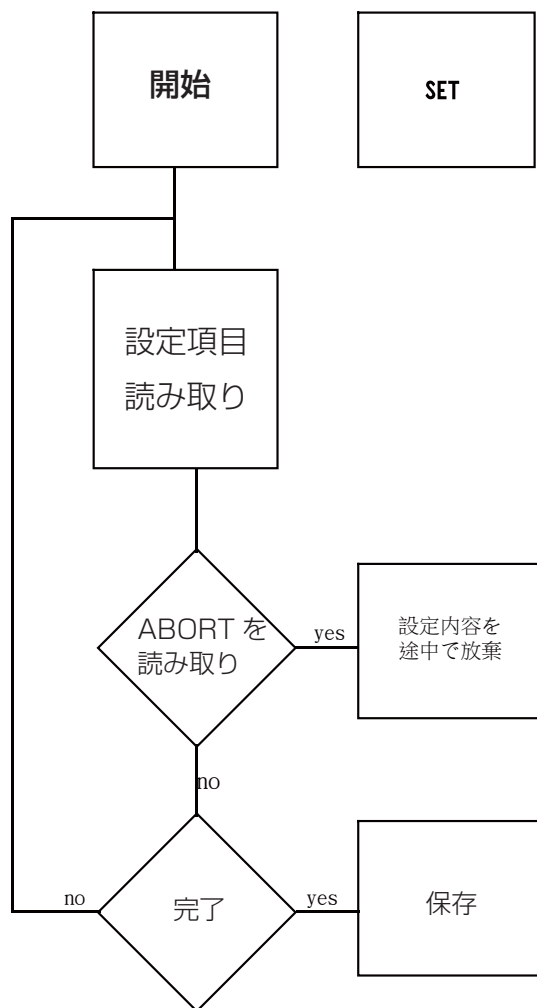


## 設定手順



## 設定手順 (フローチャート)



### ◆はじめに◆

スキャナをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。それぞれのパッケージの内側ボックスには、スキャナ、インターフェイスケーブル、クイックマニュアルが同梱しています。

### ◆インフォメーション◆

このマニュアルに含まれる情報として提供されるものは予告なく変更されることがあります。本マニュアル、またはそのコンテンツの一部を許可なしで配布、改変は許可されていません。

スキャナで実装されているすべてのソフトウェアは、著作権によって保護されています。

All software implemented in the scanner is protected by copyright international regulations.

COPYRIGHT ©2009,SCSC.

## 目次

CHAPTER 1 CCDスキャナを使用して	P.2
CHAPTER 2 インターフェイスの設定	
2.1 キーボードウェッジパラメータ	P.3
2.2 RS232Cパラメータ	P.5
CHAPTER 3	
3.1 モードパラメータを読み込む	P.9
3.2 ブザー周波数	P.11
3.3 ブザー音	P.11
3.4 ブリアンブルとポストアンブル	P.12
CHAPTER 4	
4.1.1 コードマークの設定	P.13
4.1.2 バーコードの設定	P.15
4.2 UPC-A の設定	P.17
4.3 UPC-E の設定	P.17
4.4 EAN-13 の設定	P.18
4.5 EAN-8 の設定	P.18
4.6 UPC/EAN の設定	P.19
4.7 UPC/EAN Add 2/5 Lock	P.19
4.8 Code 39 の設定	P.19
4.9 Codabar の設定	P.21
4.10 Code 93 の設定	P.23
4.11 Code 128 の設定	P.24
4.12 Code 2/5 の設定	P.25
4.13 China Postage の設定	P.28
4.14 MSI/Plessey の設定	P.29
4.15 Code 4 の設定	P.30
4.16 RSS の設定	P.30
4.17 Code 11 の設定	P.31
Appendix A.	P.33
FULL ASCII TABLE & DECIMAL TABLE	
APPENDIX B	
CodeMark Default	P.46
The CCD all default table	P.47

## CHAPTER 1 CCDスキャナーを使用して

CCD スキャナは、簡単に接続することができます

適切に使用する場合、以下の手順に従ってください。  
接続する端末によって接続方法が異なります。

### ◆WindowsPC

- 1) スキャナケーブルに USB 端子アダプタ接続してください。
- 2) コンピュータの電源をオンにします。
- 3) USB 端子にバーコードリーダーを接続します。
- 4) バーコードリーダーの赤の LED インジケーターが点灯し、CCD スキャナはビーブ音が鳴ります。  
正しいインストールが完了したことを示します。

### ◆Android







- 1) スキャナケーブルを Micro-B 端子に接続してください
- 2) Android の電源を入れます。
- 3) 赤の LED インジケーターが点灯し、CCD スキャナはビーブ音が鳴ります。  
インストール完了を示します。











### ◆トラブルシューティング







CCD スキャナの読み取りしない場合  
最初に以下のリストをチェックしてください。

- バーコードラベルが不鮮明または粗くないか。
- インタフェースケーブルがしっかりと接続されているか。
- 電源を投入後すぐに読み取ってないか（5 秒ほど待機が必要です。）
- LED ライトが点灯しているか
- ブザー音が none に設定されている。
- LED 照射窓から目に見える汚れを取り除いてください  
柔らかい湿った布で拭いてください。

CHAPTER 2 インターフェイスの設定

接続設定	
START	
Keyboard Wedge	
RS-232	
USB emulate PS2	
USB emulate RS232	
End	

2. キーボードレイアウト	
START	
* US (Android用)	
German	
Spanish	
Swiss	
Hong Kong	
French	
Italy	
Swedish	
End	

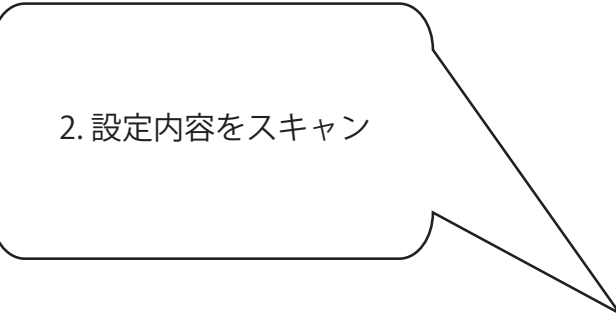
3. キーボード大文字/小文字	
START	
* Use ALT(0-127)	
Upper	
Lower	
低い方でロック	
アッパーにロック	
End	

# 1.START をスキャン

START



## 2. 設定内容をスキャン



# 3.END をスキャンして設定終了。

End



4. キーボードデータ付加コード

\* Enter

None (無し)

Tab

## 2.2 RS-232C インターフェイス

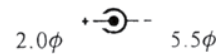
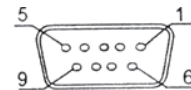
スキャナはまた満たすために RS-232C インタフェースを提供します。RS-232C インターフェイスについては、以下のラベルをスキャンします。

RS-232C

### RS-232C ピン配置:

#### DUSB-9P Female

- 1 — N/C (=no connection)
- 2 — TXD
- 5 — GND
- 7 — CTS
- 8 — RTS
- 9 — VCC (+5V)



DC Adapter  
+5v +- 10%  
150mA (min.)

### RS-232Cパラメータ:

1. ボーレート
2. データビット
3. パリティ
4. ハンドシェイクプロトコル
5. キャラクタ間ディレイ (遅延)
6. データターミネータ

1. ボーレート

\*9600bps

2400 bps

4800 bps

19200 bps

38400 bps

57600 bps

2. データビット

\* 8 bits

7 bits

# 1.START をスキャン

START



## 2. 設定内容をスキャン

# 3.END をスキャンして設定終了。

End



7

### 3. パリティ

\* None



奇数



平均



### 4. ハンドシェーキング

\* None



RTS/CTS



Xon/Xoff



### ストップディジット

\* 1 digit



2 digit



8

### 付加コード

CR/LF



None (無し)



CR



LF



H Tab



STX/ETX



EOT



レディ：スキャナは RTS 信号をアクティブにします  
電源がオンになっている、CTS を受信すると、  
データを送信する。

データ・レディ：スキャナは RTS 信号をアクティブにします  
CTS を受信したときにデータを送信する 信号。

INV。対応データ：準備ができてスキャナと同じで mentioned  
を超えるが、RTS ロジックが予約されています。

備考：ACK / NAK および XON / XOFF はオプションです

## 1.START をスキャン

START



## 2. 設定内容をスキャン

## 3.END をスキャンして設定終了。

End



9

## CHAPTER 3 他のオプションパラメータ

ここでは、スキャナは、他のオプションのパラメータを設定することができます。オプションは、スキャナの読み取りモード、スキャナ遅延、スキャナフラッシュモード、スキャナ停止モード、スキャナスキャン LEDインジケータの設定があります。

### 3.1 読書モードのパラメータ

#### Mode 1 通常の読み取りモード

読み取りキーを押すと、LEDが点灯します。一定時間が経つ、もしくはバーコードを読み取ると消灯します。

#### Mode 2 -連続/常にオンLED

LEDは常にオンになっています。バーコードスキャナの前に置くだけ一度デコードします。別の時間をデコードする別のバーコードを変更します。あなたは、同じバーコードを再スキャンする場合は、バーコードを移動する必要があります。

#### Mode 3 -連続/オフトリガ

一度、スキャンボタンを押すとLEDは常にオンになります。もう一度、スキャンボタンを押すと常にオフ状態になります。もう一度押すとオンになります。オン状態はモード2と同じく連続して同じコードをスキャンする際はバーコードを移動する必要があります。

#### Mode 4 -スマート読み取りモード

トリガーを押して、電源を接続し、LEDが5秒点灯します。何かしらの読み取りがこれらの5秒の間に存在しない場合LEDはオフになります。この5秒の間に読み取りが成功した場合、LEDが同様にオフになります。

10

#### Mode 5 - 試験モード

このモードはMD800では使用できません。

Reading Mode Parameters	
通常の読み取りモード	
-連続/常にオンLED	
連続/オフトリガ	
スマート読み取りモード	
テストモード	

## 1.START をスキャン



## 2. 設定内容をスキャン

## 3.END をスキャンして設定終了。



11

### 3.2 ブザー音の周波数（音階）

低頻度



低い周波数



\* 通常の周波数



高周波



### 3.3 ブザー音の長さ

静音(音無し)



\* 短い



普通



長い



### 3.4コード先頭とコード末尾のデータ付加

すべてのデコードされたバーコードではASCIIを追加することができます  
(プリアンブルまたはポストアンブル。)

- 1・末尾、もしくは先頭、付加したい方の設定するコードを読み取ります。
- 2・マニュアルの最後のページの備考から追加したいコードを読み取ります。

### 3.4 プリアンブルとポストアンブルデータ

バーコード先頭挿入文字を設定する



\* None



バーコード末尾に付加するコードを設定する



\* None



### 3.5 文字ディレイ（遅延）

遅延

\* 0 MMSEC



10 MMSEC



50 MMSEC



100 MMSEC



ACK/NAK/CTS/Time

\* 0 sec



0.5 sec



1 sec



5 sec



## 1.START をスキャン



## 2. 設定内容をスキャン

## 3.END をスキャンして設定終了。



## CHAPTER 4 バーコードの設定

### 4.1.1 コードのマーク設定







コードマークの設定方法:

たとえば、コード128を設定する場合、  
コードマークAであり、ここでの設定手順は、次のとおりです。

- 1.カバーから始まるバーコードをスキャンします。
- 2.コードマークIDのコード128バーコードをスキャンします。
- 3.巻末ページの設定コードAのAのバーコードをスキャン
- 4.完了するために「END」のバーコードをスキャンしてください。  
これでcode128のデータを読み取ると「A」が表示されます。

コードマークIDをキャンセルしたい場合は設定中に  
以下のように手順を実行することで可能です。

1. 「スタート」バーコードをスキャンします。
2. CANCELシングルコードマークセットの  
コードマークIDバーコードをスキャンする。
3. 「END」バーコードをスキャンします。  
code128のデータを読み取ると正常に表示されます。

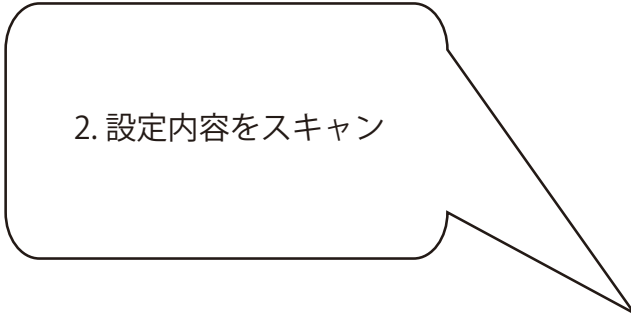
コードマーク(ID.)	
JAN-13 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">CANCELシングル コードマークセット </div>
UPC-A 	
JAN-8 	
UPC-E 	
コードマークをデフォルトに戻す設定 	

(コードマークの続き)

Code 39 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">CANCELシングル コードマークセット </div>
Code 128 	
Codabar 	
Interleave 2/5 	
Industrial 2/5 	
Matrix 2/5 	
China Postage 2/5 	
Code 93 	
Standard 2 of 5 (IATA) 	
MSI/Plessey 	
Code 11 	
コードマークをデフォルトに戻す設定 	



1.START をスキャン






















2. 設定内容をスキャン

3.END をスキャンして設定終了。



15 4.1.2 読み取るバーコードを設定する。

UPC-A	* ON 	OFF 
UPC-E	* ON 	OFF 
JAN-13	* ON 	OFF 
JAN-8	* ON 	OFF 
CODE39	* ON 	OFF 
CODEBAR	* ON 	OFF 
China post	ON 	* OFF 
CODE4	ON 	* OFF 
CODE11	ON 	* OFF 

CODE93	* ON 	OFF 
CODE128	* ON 	OFF 
InterLeaved 2 of 5	ON 	* OFF 
Industrial 2 of 5	ON 	* OFF 
standard 2 of 5	ON 	* OFF 
MATRIX 2 of 5		
MSI/Plessey	ON 	* OFF 
RSSCODE	ON 	* OFF 

# 1.START をスキャン

START



2. 設定内容をスキャン

3.END をスキャンして設定終了。

End



17

## 4.2 UPC-A の設定

### 4.2.1. UPC-A チェックディジット送信

OFF



\* ON



### 4.2.2 UPC-A 最初のディジットを隠す

OFF



\* ON



## 4.3 UPC-E の設定

### 4.3.1. UPC-E チェックデジットを送信

OFF



\* ON



### 4.2.2 UPC-E 最初のディジットを隠す

OFF



\* On



18

## 4.4 JAN-13 の設定

### 4.4.1. JAN-13 チェックディジットを送信

OFF



\* ON



### 4.4.2. JAN-13=ISBN/ISSNに変換

\* OFF



ON



## 4.5 JAN-8 の設定

### 4.5.1. JAN-8 のチェックディジットを送信

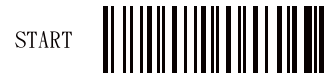
OFF



\* ON



# 1.START をスキャン



## 2. 設定内容をスキャン

# 3.END をスキャンして設定終了。



### 4.6 UPC/EAN 補足

#### 4.6.1. UPC-A=EAN-13変換

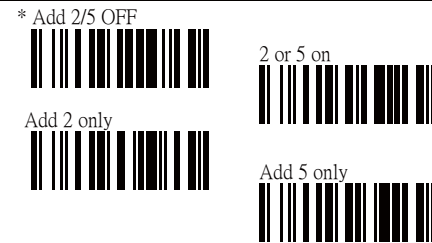


#### 4.6.2 UPC-E=UPC-A変換



### 4.7 UPC/EAN 補足

#### UPC/EAN 補足



#### Add 2/5 Lock



### 4.8 Code 39 の設定

コード 39 は次のように含まれています。

1. バーコードの種類。
2. 文字をスタート/ストップ。
3. チェックデジット。
4. コード長
5. チェックデジットを送信
6. 前/後の数字抑制

#### 1. コードタイプ



#### 2. 送信スタート/ストップキャラクタ



#### 3. チェックデジットを確認する



#### 4. コード長



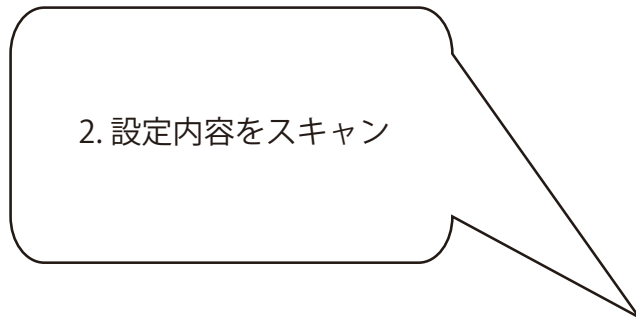
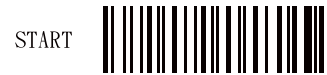
#### 5. チェックデジットを送信



#### 6. フロント/バックデジットの抑制



# 1.START をスキャン



# 3.END をスキャンして設定終了。



## 4.9 Codabar Code 設定

チェックデジットを確認する

※OFF  ON 

チェックデジットを送信

※OFF  ON 



スタート/ストップトランスミッションの形式

※ ABCD/ABCD  abcd/abcd   
abcd/trn\*e 

スタート/ストップ送信

※無効  有効 

コード長

最短長さ  \* Default (0~64) Min =5 ; Max=64  
最長長さ 

フロント/バックの桁が抑制

フロント桁  \* 0・None   
戻る桁 

# 1.START をスキャン



## 2. 設定内容をスキャン

# 3.END をスキャンして設定終了。



### 4.10 Code 93 の設定

チェックデジットを確認する

※ OFF  ON 

チェックデジットを送信

※ OFF  ON 

コード長

最短  \* Default (0~64) Min=5 ; Max=64

最長 

フロント/バックの桁が抑制

最初の数字が抑制  \* 0 : None

最後の桁が抑制 

### 4.11 Code 128 の設定

チェックデジットを送信

\*OFF  OPEN 

コード長

最短の長さ  \* Default (0~64) Min=0 ; Max=64

最長の長さ 

フロント/バックの桁が抑制

最初の数字が抑制  \* 0 : None

最後の桁が抑制 

# 1.START をスキャン

START



## 2. 設定内容をスキャン

# 3.END をスキャンして設定終了。

End



### 4.12 Code 2 of 5 の設定

#### 1. Interleaved 2 of 5



チェックデジットを確認する


\* OFF  ON 

チェックデジットを送信

\* OFF  ON 

コードの長さ

最短の長さ  \* Default (5~64) Min Length=5 ; Max Length=64 

最長の長さ 



フロント/バックデジットの抑制


フロント桁抑制  \* 0 , no digit suppressed 

背中の数字に抑制 

#### 2. Industrial 2 of 5

コードの長さ

最短の長さ  \* Default (5~64) Min =5 ; Max=64 

最長の長さ 

フロント/バックデジットの抑制

フロント桁抑制  \* 0 , Default, no digit suppressed 

背中の数字に抑制 

#### 3. Standard 2 of 5 (IATA Code)

コードの長さ

最短の長さ  \* Default (5~64) Min Length=5 ; Max Length=64 

最長の長さ 

フロント/バックデジットの抑制

フロント桁抑制  \* 0 , no digit suppressed 

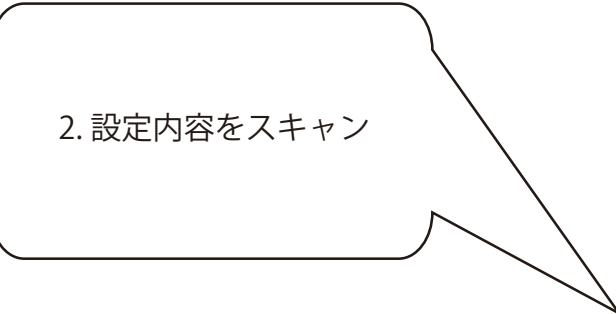
背中の数字に抑制 

# 1.START をスキャン

START



## 2. 設定内容をスキャン



# 3.END をスキャンして設定終了。

End



### 4. Matrix 2 of 5


チェックデジットを確認する



\* OFF  ON 

チェックデジットを送信


\* OFF  ON 



コード長

最短の長さ  \* Default (5~64) Min=5 ; Max=64

最高の長さ  

フロント/バックデジットの抑制

Front Digit Suppressed  \* 0 , no digit suppressed

Back digit Suppressed  

### 4.13. China Postage Code


チェックデジットを確認する



\* OFF  ON 

チェックデジットを送信

\* OFF  ON 

コードの長さ

最短の長さ  \* Default (5~64) Min=5 ; Max=64

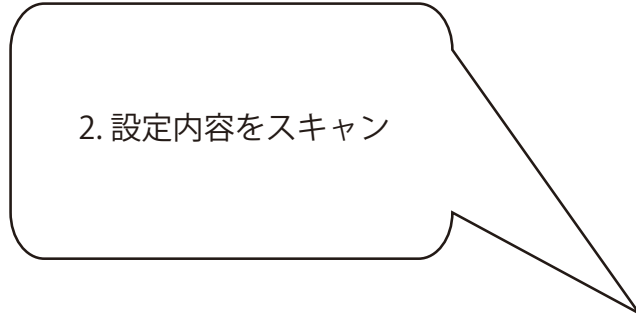
最高の長さ  

フロント/バックデジットの抑制

フロント桁抑制  \* 0 , no digit suppressed

背中の数字に抑制  

# 1.START をスキャン




2. 設定内容をスキャン



# 3.END をスキャンして設定終了。



## 4.14. MSI/ Plessey

コードの長さ

最短の長さ  \* Default (5~64) Min=5 ; Max=64



最高の長さ  



フロント/バックデジットの抑制



フロント桁抑制  \* 0 , No digit suppressed



戻る桁抑制  

チェックデジットを確認する

\* チェックしない  Mode10送信0桁 


Mode10 1桁を送信  Mode11 0の数字を送信 



Mode11 1桁を送信  Mode11 2桁の数字を送信 

Mode10/ Mode 11 送信側と受信側の両方  Mode10/ Mode 11 送信しない 

## 4.15. Code 4

コードの長さ

最短の長さ  \* Default (0~64) Min =5 ; Max =64

最長の長さ  

フロント/バックデジットの抑制

フロント桁抑制  \* 0 , No Digit Suppressed

戻る桁抑制  

## 4.16. RSS

コードの長さ

最小長  \* Default (5~64) Min =5 ; Max =64

最大長  

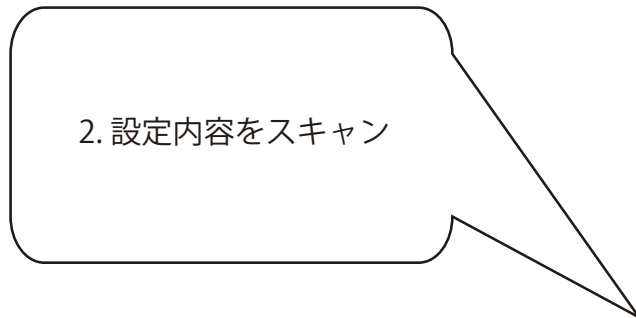
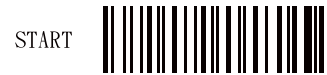
フロント/バックデジットの抑制

フロント桁抑制  \* 0 , No digit suppressed

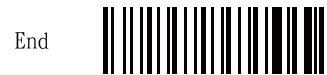
戻る桁抑制  



# 1.START をスキャン



# 3.END をスキャンして設定終了。



## 4.17. Code 11

コード長	
最小 	* Default (0~64) Min =5 ; Max=64
最大 	
フロント/バックデジットの抑制	
フロント桁抑制 	* 0 , no digit suppressed 
背中の数字に抑制 	
チェックデジットを確認する	
* 1桁のチェック 	2 数字チェック 
チェックデジットを送信	
* OFF 	ON 

## 1.START をスキャン

START



## 2. 設定内容をスキャン

## 3.END をスキャンして設定終了。

End





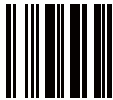



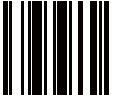

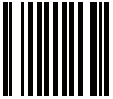
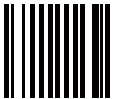



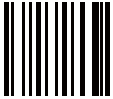

### 付録A フルアスキーテーブル&DECIMAL表

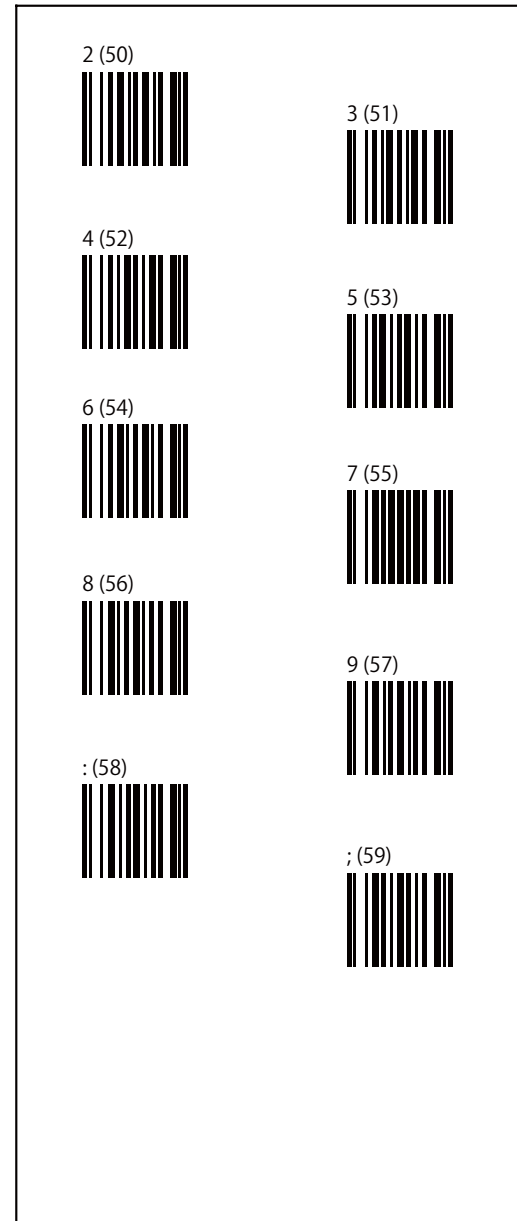
次の表は、フルアスキーと小数点コードの両方が含まれています。  
小数点以下のコードは、各 ASCII に括弧しているコード。  
これは、ユーザーに合わせて設定が非常に簡単になります  
一部の構成からアプリケーションだけで行うことができます  
コードだけ ONC スキャン。スキャナの復号 software  
自動的に関係なく、あなたの設定（複数可）を識別することができる、テキストまたは数字。

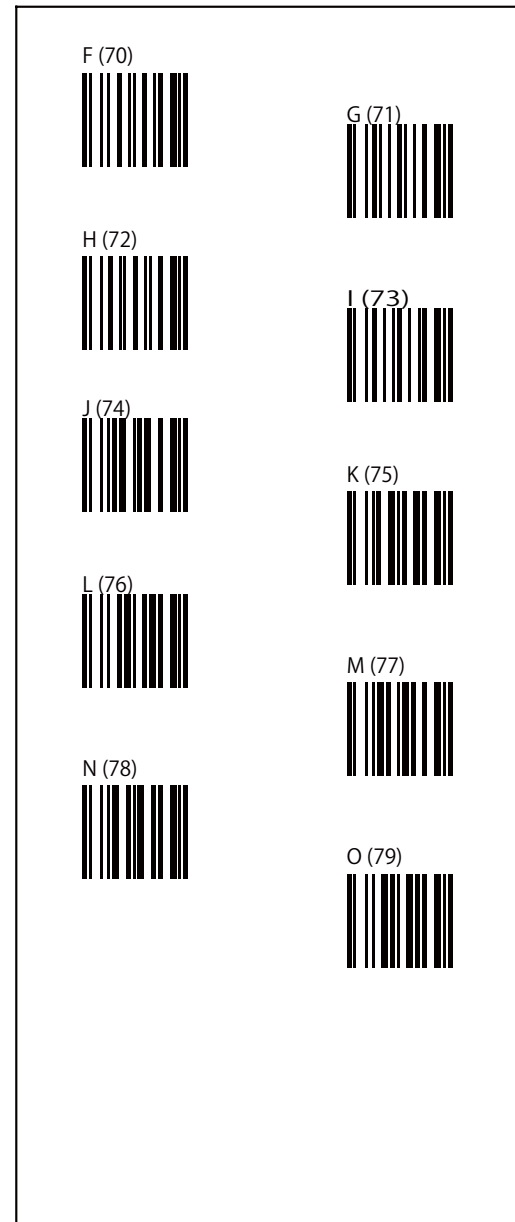
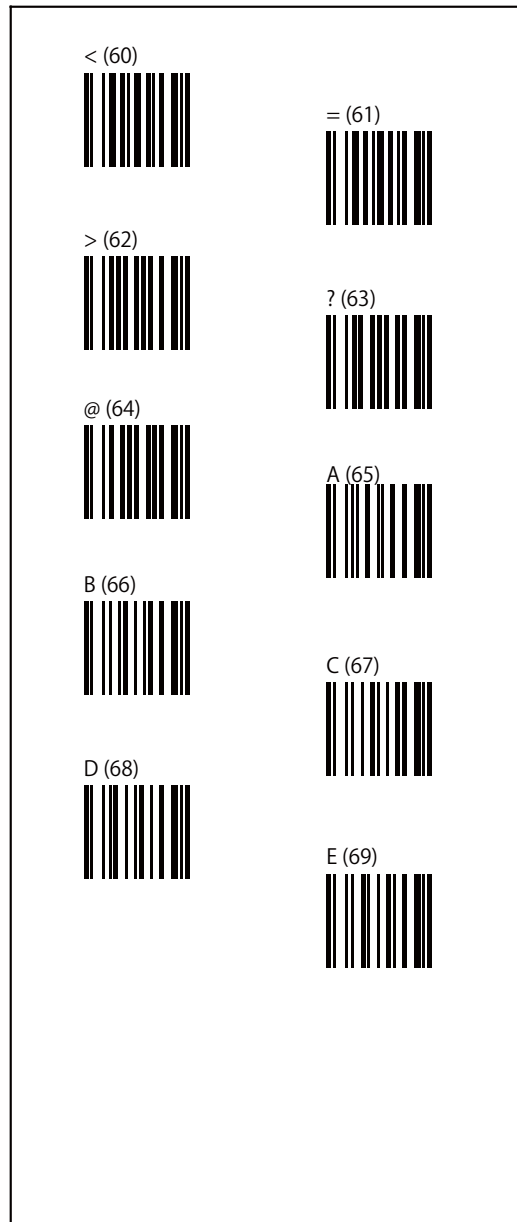
NUL (0)	SOH (1)
STX (2)	ETX (3)
EOT (4)	ENQ (5)
ACK (6)	BEL (7)
BS (8)	HT (9)

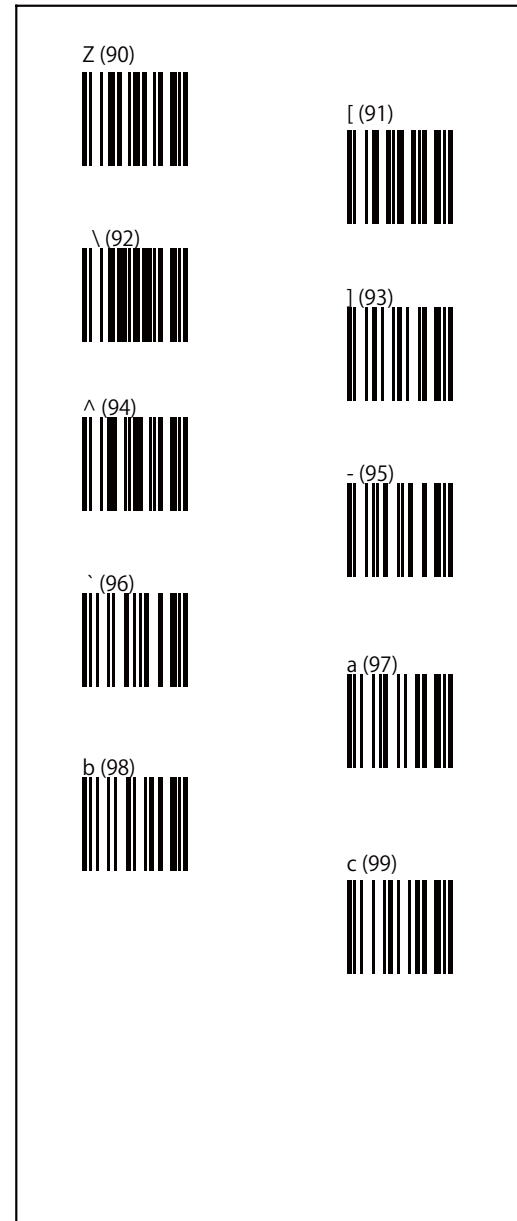
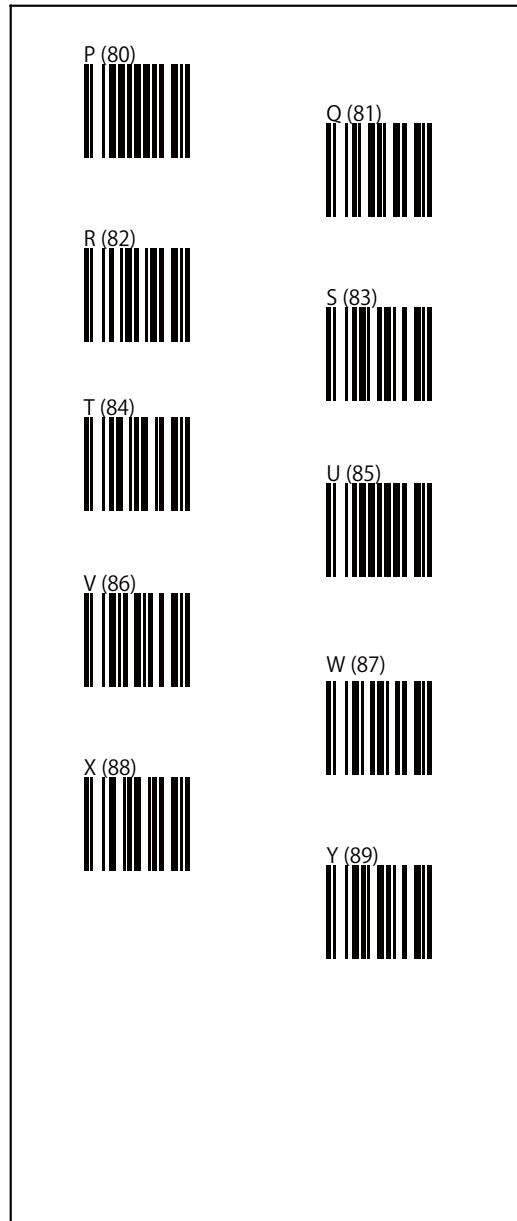
LF (10)	VT (11)
FF (12)	CR (13)
SO (14)	SI (15)
DLE (16)	DC1 (17)
DC2 (18)	DC3 (19)

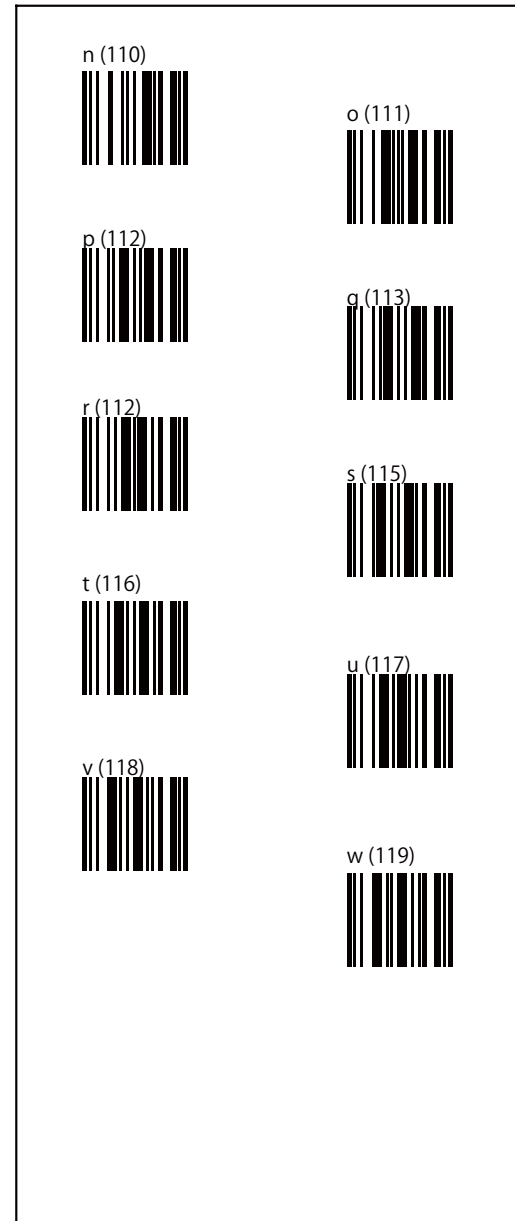
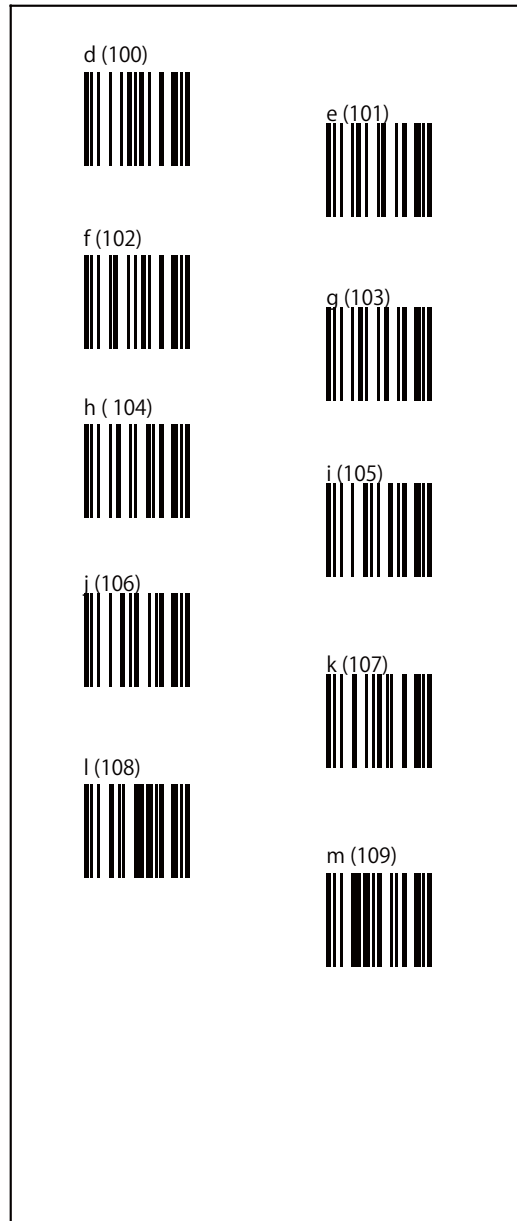
DC4 (20) 	NAK (21) 
SYN (22) 	ETB (23) 
CAN (24) 	EM (25) 
SUB (26) 	ESC (27) 
FS (28) 	GS (29) 

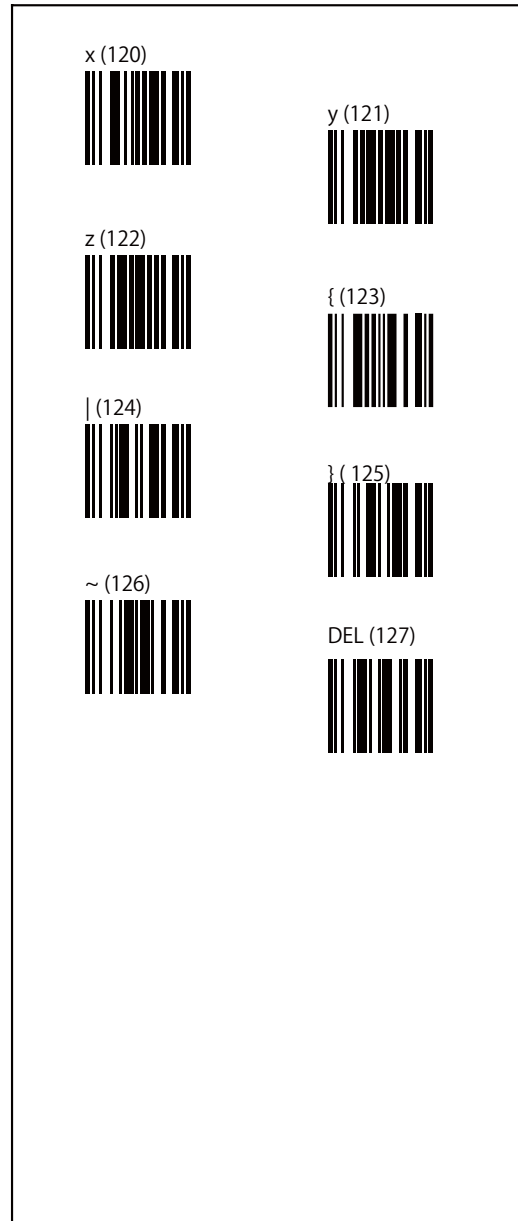
RS (30) 	US (31) 
SP (32) 	! (33) 
" (34) 	# (35) 
\$ (36) 	% (37) 
& (38) 	' (39) 











### デフォルトのコードマーク：

- 1) ・JAN-13 は `A`
  - ・UPC-A は `B`
  - ・JAN-8は `C`
  - ・UPC-Eは `D`
  - ・Code 4 は `E`
  - ・Code 11 は `F`
  - ・Code 39 は `G`
  - ・Code 93 は `H`
  - ・Code 128 は `I`
  - ・Codabar(NW-7)は `J`
  - ・Interleave 2/5 (ITF2/5) は `K`
  - ・IND 2/5 は `L`
  - ・MTX 2/5 は `M`
  - ・China postage(Datalogic 2/5) は `N`
  - ・Standard 2 of 5 (IATA) は `S`
  - ・MSI/Plessey は `U`

- 2) スキャンラベルはすべてのコードをキャンセルする場合は「すべてのコードマークのキャンセル」を1度にマークします。



## デフォルト設定

インターフェイス	
コンピュータの種類	PC/AT & PS/2-50/60/80
キーボードレイアウト	US
K / B大文字/小文字	Use ALT (0-127)
RS232C	
ビットレート	9600bps
データビット	8 bits
パリティ	None
Handshaking Protocol	None
ストップビット	digit
データターミネータ	CR/LF
キャラクタ遅延	0mm sec
データ送信遅延	0mm sec
読み出しモード	通常の読み取りモード
音の周波数	normal
ブザー音の長さ	short
前後付加コード	None
読み取りバーコード (Could set OFF)	UPC-A、UPC-E、EAN-13、EAN-8、Code -39、Codabar、Code 93、Code 128、Interleaved 2 of 5、Industrial 2 of 5、Standard 2 of 5
読み取らないコード (could set ON)	China Postage、Matrix 2 of 5、MSI/Plessey、Code 4、RSS。
UPC-A Code	チェックデジットを送信 ON フロント桁抑制 ON
UPC-E Code	チェックデジットを送信 ON フロント桁抑制

EAN-13 Code	チェックデジットを送信	ON
	ISBN変換	OFF
EAN-8 Code	チェックデジットを送信	ON
UPC=EAN	OFF	
UPC-E = UPC-A	OFF	
UPC/EAN Supplemental	Add 2/5 Off	
Code 39	チェックデジットを確認	OFF
	チェックデジットを送信	OFF
	Code Type	Standard Code
	コードタイプ	OFF
	最長、最短コード	Min Length= 0 Max Length= 64
	フロント/バックの桁が抑制	0、None
CodaBar	チェックデジットを確認	OFF
	チェックデジットを送信	OFF
	スタート/ストップの形式	ABCD/ABCD
	スタートストップ送信	OFF
	コードの長さ	Min Length = 5 Max Length =64
	フロント/バックの桁が抑制	0、None
Code 93	チェックデジットを確認	OFF
	チェックデジットを送信	OFF
	コードの長さ	Min Length = 5 Max Length =64
	フロント/バックの桁が抑制	0、None
Code 128	チェックデジットを送信	OFF
	コードの長さ	Min Length = 0 Max Length =64
	フロント/バックの桁が抑制	0、None

Interleaved 2 of 5	チェックデジットを確認	OFF
	チェックデジットを送信	OFF
	コードの長さ	Min = 5 Max = 64
	フロント/バックの桁が抑制	0、None
Industrial 2 of 5	コードの長さ	Min = 5 Max = 64
	フロント/バックの桁が抑制	0、None
Standard 2 of 5 (IATA)	コード長	Min = 5 Max = 64
	フロント/バックの桁が抑制	0、None
China Postage	チェックデジットを確認する	OFF
	チェックデジットを送信	OFF
	コードの長さ	Min = 5 Max = 64
	フロント/バックの桁が抑制	0、None
Matrix 2 of 5	チェックデジットを確認	OFF
	チェックデジットを送信	OFF
	コードの長さ	Min = 5 Max = 64
	フロント/バックを抑制	0、None
MSI/Plessey	チェックデジットを送信	OFF
	コードの長さ	Min = 5 Max = 64
	フロント/バックを抑制	0、None
Code 4	コードの長さ	Min = 5 Max = 64
	フロント/バックを抑制	0、None
RSS	コードの長さ	Min = 5 Max = 64
	フロント/バックを抑制	0、None
Code 11	チェックデジットを確認	1 Verify check digit
	チェックデジットを送信	OFF
	コードの長さ	Min = 5 Max = 64
	フロント/バックを抑制	0、None